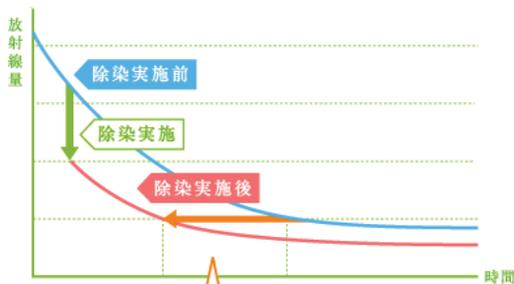


地域の線量に応じた除染によって、追加被ばく線量を低減していきます。

事故由来の放射線量の減り方



平成23年8月時点と比較して2年後に約4割、5年後に約6割が減少します。それに加えて、除染によって放射性物質を取りのぞくことで、放射線量をより早く減少させることができます。

環境省「除染情報サイト」より作成

この図は事故由来の放射性物質から放出される放射線量の減衰を概念的に示したものです。

地域の線量に応じた除染によって、追加被ばく線量を、段階的に低減していくことを目的としています。

除染を進めることによって、放射性物質の物理減衰などと相まって、放射線量をより早期に低減できると考えられています。

本資料への収録日：2014年3月31日

関連 Q&A

- ・ 5章 QA4 除染の効果について教えてください
- ・ 5章 QA5 除染してもまた放射線量が上がってしまうことがあるのですか